

悶え (1959)

THE SOUND AND THE FURY

メディア 映画
ジャンル
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 115分
初公開日 1959/08/29
公開情報 F O X

【解説】
社会派リットはこの前年にも同じフォークナー原作の「長く熱い夜」を成功させており、ひところは文芸物専門の感があった。本作もフォークナー作品の映画化。原作小説の邦題は『響きと怒り』。主人公のJ・ウッドワードは専制的な当主の叔父に行く手を阻まれ“悶え”るのだから、本作のタイトルも頷けないことはない。例によって閉鎖的な南部の旧家に育った娘の自立する姿を演じてウッドワードは逞しさをみせた。所々、硬さもある作品だが、南部の粘りつくムードが、当時のプロダクションの中でまずまず出せたのはリットの力量だろう。Y・ブリンナーがやはり当主に逆らう、主人公が本当に恋していたと気付く従兄役で、ここでの彼は髪がフサフサ。

【クレジット】
監督 マーティン・リット Martin Ritt
製作 ジェリー・ウォルド Jerry Wald
原作 ウィリアム・フォークナー William Faulkner
脚本 アーヴィング・ラヴェッチ Irving Ravetch
ハリエット・フランク・J r Harriet Frank Jr.
撮影 チャールズ・G・クラーク Charles G. Clarke
美術 モーリス・ランスフォード Maurice Ransford
音楽 アレックス・ノース Alex North
出演 ユル・ブリンナー Yul Brynner
ジョアン・ウッドワード Joanne Woodward
フランソワーズ・ロゼー Francoise Rosay
マーガレット・レイトン Margaret Leighton
スチュアート・ホイットマン Stuart Whitman
エセル・ウォーターズ Ethel Waters
ジャック・ウォーデン Jack Warden
アルバート・デッカー Albert Dekker